

令和3年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和3年12月6日、7日

No.	氏名	項目・要旨
1	熊谷 泰人 (新政いいだ) 【 120 分 】	<p>1 市長の市政運営と予算編成方針に関して</p> <p>(1) 市長就任1年間の市政運営の総括と今後の進め方について</p> <p>① 新型コロナ感染防止と経済活動の両立に向けた取り組みの評価と今後の対応は</p> <p>② 「対話と現場主義を貫く」とした1年間の取り組みと成果は</p> <p>③ 公約で「真の現場主義」を実現するため組織体制を見直すとしているが考えは</p> <p>④ 導入後14年余が経過した地域自治区の現状をどのように捉えているか、また「市長と語る会」などを通して見えてきた課題解決に向けての考えは</p> <p>(2) 今後10年間の長期的な財政見通しが示されたが市長の思いは</p> <p>(3) 令和4年度予算編成の基本方針は</p> <p>(4) 地域内経済循環を進めるために地域内通貨導入を考えたいとしていたが、その研究は進んだか</p> <p>2 リニア中央新幹線に関連して</p> <p>(1) 駅周辺整備における移転交渉の進捗状況は</p> <p>(2) 駅周辺整備にかかる実施設計の進捗状況は</p> <p>(3) 乗り換え新駅に関し進めている2次交通の在り方についての調査状況は、また乗り換え新駅設置の方向性は</p> <p>3 ブランディング、シティプロモーションについて</p> <p>(1) 市が目指すブランディング戦略の目玉は何か</p> <p>(2) コロナ禍で注目されている地方への分散移住について、都市部へのプロモーションの取り組みやサテライトオフィス誘致に向けた取り組み状況は</p> <p>4 交流人口の拡大について</p> <p>(1) 整備中の(仮称)飯田駅前プラザを賑わい再生の拠点と位置付けているが、交流人口拡大に向けどのように活用していくか</p> <p>(2) 飯田市立動物園の指定管理の課題は把握できているか、また、今後の方向性は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊谷 泰人 (新政いいだ)	<p>(3) アリーナ機能を中心とする複合施設について議論の進展は</p> <p>5 教育、福祉について</p> <p>(1) 信州大学新学部誘致に向けての取り組み状況は</p> <p>(2) 地域福祉コーディネーターの役割と現状は、また充足状況は</p> <p>6 若者定住、産業振興について</p> <p>(1) 林業振興の施策として林業後継者育成の取り組み状況は</p> <p>(2) 地元出身高校生や大学卒業者等と地元企業をつなぐ事業の成果は見えてきたか</p> <p>(3) コロナ後の観光振興に向けた考え方は</p> <p>7 安全安心な社会、社会基盤整備について</p> <p>(1) 市道、河川の長期的改修整備計画の策定は</p> <p>(2) 地域防災の要である消防団員確保と地域自主防災組織への支援は</p> <p>(3) 生活道路や通学路、用排水路の修繕対応は</p> <p>(4) デジタル化推進のための市の体制は</p> <p>(5) 飯田警察署の現地改築要望の実現性は</p>
2	清水 勇 (会派きぼう) 【 120 分 】	<p>1 今後の市政運営について</p> <p>(1) 将来の飯田市の長期財政見通しについてと、4年度の予算編成の基本方針の考え方は</p> <p>① 国の国土強靱化計画の推進について市の考え方と計画は</p> <p>ア 各まちづくり委員会と協働して地域強靱化の取り組みを推進する考えは</p> <p>② 市の公共施設の計画的な整備について施設とその環境を総合的に企画・管理・活用するファシリティマネジメントの導入をどう考えるか</p> <p>ア 不要な施設・不足施設・不適切な施設の使われ方が明らかになり、事業継続にとって効果的な解決手段が見えてくると思うが、今後の取り組みはどうか</p> <p>(2) リニア新時代を見据えた都市部からの移住政策をどのように推進していくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清 水 勇 (会派きぼう)	<p>① 移住政策を明確にし、情報の発信と移住者の要望に対しどのように取り組んでいくか</p> <p>ア 新ライフスタイルを提供できる具体的な取り組みをどう考えるか</p> <p>(3) 各地区の特性を活かしたまちづくりを推進するために、財源となるパワーアップ地域交付金の増額の考えは</p> <p>① 各まちづくり委員会ではリニア、三遠南信自動車道開通に向けて、地域の特色を活かし、移住者対策、空き家対策など進めている、市として更なる情報提供をし、協働して取り組むべきと思うがどうか</p> <p>2 リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通を見据えたまちづくりについて</p> <p>(1) リニア駅周辺整備事業の取り組み状況は</p> <p>① いくつかのプロジェクトを設置して取り組んでいるが現状は</p> <p>ア それぞれのプロジェクトの状況はどうか</p> <p>イ 実施設計の状況と議会、市民への説明についての考え方は</p> <p>ウ 周辺施設への民間活力の参入と誘導の考えは</p> <p>(2) リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通を見据えた産業・観光事業の取り組みについて、飯田市版立地適正化計画における交流拠点(天龍峡・遠山郷)と密接に関わる、天龍峡IC周辺、遠山郷の道の駅の活用に向けた市の考えは</p> <p>① 産業団地や工場誘致の考えと今後の市全体の産業のあり方の方向性についてどう考えるか</p> <p>3 環境に配慮したまちづくりについて</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言に基づいた具体的な施策推進にあたり、水素など新エネルギーの研究と災害時にも有効なマイクログリッドの可能性の考えは</p> <p>(2) 県と行った「信州まちなかみどり宣言」に関し、まちなか緑化の意義と維持管理を明確にして取り組むべきと思うがどうか</p> <p>(3) ランドスケープデザインの観点からまちづくりにつながるよう、地域へ波及させる取り組みをどう考えているか</p> <p>4 活力ある産業振興と地域活性化について</p> <p>(1) 地域雇用の拡大に向け、新産業分野と既存産業への支援及び地場産業の発展に向けてどのように取り組むか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清 水 勇 (会派きぼう)	<p>(2) リニア発生土を有効活用し、産業や地域振興につなげていく考えは</p> <p>(3) 森林経営管理法が平成31年4月に施行されたが、市として森林整備や森林資源の活用、里山保全や自然体験事業にどのように活かしていくか</p> <p>(4) 農業振興策について、農業従事者の高齢化、後継者不足、空き家活用などの課題に対して農業振興センターと今後どのように取り組むか</p> <p>(5) 地域の歴史、文化、芸能、人材など地域資源を活かした取り組みの考えは</p> <p>5 子育て支援と医療・福祉・介護の充実について</p> <p>(1) 仕事と子育てができる環境整備と病児保育事業の現状と取り組みは</p> <p>(2) 不妊治療費助成事業の今後の取り組みをどう考えているか</p> <p>(3) 介護保険事業の人材育成と確保、特養待機者の解消へ向けた取り組みの考え方は</p> <p>(4) 飯田市立病院の医師、看護師、介護員など医療職員の人材確保と今後の状況は</p> <p>6 教育の充実と、人づくりの拠点施設について</p> <p>(1) 学校のICT活用に関わる問題事案と解決に向け対応した取り組み及び環境整備の状況は</p> <p>(2) 学校や通学路の安全確保の取り組み状況は</p> <p>(3) 大学(学部)誘致に向けた取り組み状況と、飯田女子短大の共学への動きについて今後の考え方は</p> <p>(4) (仮称)飯田駅前プラザの整備と利活用についての考え方は</p> <p>7 コロナ対策と安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) コロナワクチン接種率及び若年層への接種状況と今後3回目のワクチン接種の考えは</p> <p>(2) 災害時の避難施設としても考えられる、公園や学校等トイレの改修計画の考え方は</p> <p>(3) 被災者台帳、避難所、仮設住宅の管理などを円滑に行うための「被災者支援システム」構築に向けた考えは</p> <p>(4) 地域、市民要望の多い、道路・河川・雨水対策の取り組み状況と考え方は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	原 和 世 (会派みらい) 【 110 分 】	<p>1 市長の市政運営に関して</p> <p>(1) 市政運営におけるこの1年の振り返りと新たな年への展望について</p> <p>① この1年の振り返りと新しい年への展望は</p> <p>② 新年度予算編成と日本一住みたいまちへの歩みは</p> <p>2 行財政運営に関して</p> <p>(1) 今後10年間の財政見通しにおける行財政運営について</p> <p>① 公表された財政見通しの下での財政運営は、市民にとってどのように関わってくるか</p> <p>② 人件費が横ばいであるが財政見通しとの関係は</p> <p>③ 今回示されなかった公営企業3会計の見通しは</p> <p>④ 財政調整目的基金として財調・減債・公共の3基金としたが、ふるさと・庁舎・地域振興は基金目的を見直しとめた上で市政課題や市民要望に柔軟に応えられる基金とすることは</p> <p>⑤ 行革大綱に示す公共施設の最適化に関し、維持管理や運営が可能な総量の見極めと抑制についての考え方は</p> <p>(2) 指定管理者制度について</p> <p>① 平成15年からの制度運用に関し施設の設置目的が履行されているかが評価されるように検証見直しをする考えは</p> <p>② 飯田市立動物園を施設の持つポテンシャルを引き出すような指定管理内容に見直すことは</p> <p>3 産業政策に関して</p> <p>(1) 文化経済自立都市から新・環境文化都市に向かうための経済政策について</p> <p>① 行政がリードした自立度を目標に置いた行政計画ともいえる地域経済活性化プログラムを民間経済団体が主導する経済指標として行政の役割を含め再構築することは</p> <p>② 現在の経済活性化プログラムを地域の産業構造や地域経済の実態など地域経済の動向が分かるような調査書としていくことは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい)	<p>③ 文化経済自立都市構想における経済政策では外貨と自立度がキーワードであったが、新・環境文化都市では環境と循環を経済政策のキーワードとして位置づけ展開していくことは</p> <p>④ 市民生活を支える上で重要な産業の担い手である技能労働者が減少していく中、担い手確保のために官民挙げた人材育成とものづくり教育への取り組みは</p> <p>4 教育・文化政策に関して</p> <p>(1) 次世代を目指す教育・文化施策のあり方について</p> <p>① ICTを活用した教育効果について今後の方向性も併せどのように考えるか</p> <p>② 少子化における教育環境の変化と学校施設配置について、学校運営協議会で始まった意見交換を今後どのようにして方向性を見出そうとしているのか</p> <p>③ 設置以来20年を迎えようとする飯田市歴史研究所の今後の在り方をどのように考えるか</p> <p>④ 飯田市教育委員会施設総合管理計画に示されている施設のうち、社会体育施設の実施計画に関しスポーツ文化振興の観点から下記案件の早急の対応が求められるが実現に向けての考えは</p> <p>ア 社会教育施設のグラウンドトイレ(汲み取り)改善は洋式化以前の喫緊の課題と思うがどうか</p> <p>イ 数年来の課題であるサッカー・ラグビー競技におけるグラウンドの芝生化が計画に無いが検討は</p> <p>ウ 遅れているテニスコートの照明設置の検討は</p> <p>5 当面する行政課題に関して</p> <p>(1) 南アルプスジオパークについて</p> <p>① 条件付き認定の評価を受けての検討状況は</p> <p>(2) リニア中央新幹線について</p> <p>① 乗り換え新駅の検討状況は</p> <p>② コロナ下で市民との情報共有が進んでいないが今後は</p> <p>(3) 新文化会館建設について</p> <p>① まちづくりの観点から検討することは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	永 井 一 英 (公 明 党) 【 110 分 】	<p>1 これからの市政運営と来年度の予算編成について</p> <p>(1) 環境文化都市をめざして</p> <p>① 市長がマニフェストに掲げる「グリーンリカバリー」、そして「地域内経済循環」を具現化する政策の進捗状況は</p> <p>(2) ソサエティ5.0社会の到来を見据えて</p> <p>① 市民生活、産業振興などあらゆる分野において、必要性に応じてデジタル技術の活用を図るためのビジョンの策定は。また、応用展開の中心となる拠点の設置は</p> <p>(3) リニア中央新幹線の開通を見据え、東京、名古屋との人の移動時間が大幅に短縮される利点を生かした政策は</p> <p>2 つながり、支えあう社会の構築に向けて</p> <p>(1) コロナ禍を経て、つながり、支えあう社会の構築が重要と考える。市長はどう考えるか</p> <p>(2) 発達障がい児・者が増えていると聞く。実態と市の対応は。また、生涯にわたっての支援はどうなっているか</p> <p>(3) 住民自治の推進と支援について</p> <p>① 地域課題や田舎へ還ろう戦略に取り組む事業体の立ち上げには課題が多い。専門的なアドバイザーによる伴走支援が必要と考えるがどうか</p> <p>3 子どもの幸福を実現する教育について</p> <p>(1) コロナ禍で反転授業が注目されていると聞く。市内小中学校における取り組みの状況と今後の課題は</p> <p>4 山・里・街の魅力を高め連携と交流によるグローバルなまちづくりに向けて</p> <p>(1) 飯田市への人の流れをつくるには</p> <p>① テレワークを見据えたオフィス誘致に、スピード感を持って取り組む必要があると考える。現状と今後の方向性は</p> <p>② 飯田市を離れた若者にUターンを促すための政策について</p> <p>ア キャリア教育、つなぐ事業、インターンシップが連携した仕組みを構築してはどうか</p> <p>③ 奨学金を返済中、若しくは返済予定の若者の奨学金を最大全額肩代わりする「奨学金返還支援」の新たな仕組みを、市も創設してはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英 (公 明 党)	<p>(2) 多文化共生・グローバル社会に向けて</p> <p>① 在住外国人と地域住民とが文化の違いを認め合い相互理解を進め、共に暮らすためには多くの課題がある。実態はどうか。また、市はどのように進めるか</p> <p>5 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくりに向けて</p> <p>(1) 防災意識社会の構築に向けて</p> <p>① 災害対策基本法が改正され、大雨・洪水警戒レベル4の避難勧告・指示が一本化された。市民への意識の醸成をどのように図るか。また、福祉避難所の確保、要配慮者施設避難確保計画の作成も義務付けられた。進捗状況は、また今後の見通しは</p> <p>(2) 今年の7月、熱海市で大規模な土砂災害が発生した。調査によると、盛り土が原因ともいわれる。飯田市における実態はどうか</p> <p>(3) 地域公共交通政策推進のスピードアップについて</p> <p>① 高齢化が急速に進む中、移動困難、また運転免許返納後の移動手段の確保が喫緊の課題となっている。所管部署であるリニア推進部と健康福祉部などが連携する体制が必要と考える。市長はどう考えるか</p> <p>(4) 安心して暮らせる快適なまちづくり</p> <p>① 要介護者を抱える高齢者世帯で、賃貸住宅に住む世帯へのバリアフリー化の支援は。また、バリアフリー化された公営住宅への入居は可能か</p> <p>② 市営住宅への入居に際し必要となる連帯保証人について、見つからず困っている実態がある。市はどう考えるか</p> <p>6 ポストコロナへ、地域産業の活性化と地域の雇用創出、人手不足の解消について</p> <p>(1) 稼げる農業をめざす支援は</p> <p>(2) 職人の担い手不足が深刻となっている。更なる市の支援策は</p> <p>(3) 人生100年時代を見据えて、アクティブシニア層に向けた就労支援、地域で活躍するための支援を行う総合相談窓口の設置が必要と考える。市長はどう考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	古 川 仁 (日本共産党) 【 70 分 】	<p>1 市長の政治姿勢と「新・環境文化都市」創造プラン2050年、「日本一住みたいまち」の実現に向けて</p> <p>(1) 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市政運営全般は憲法第25条の精神に基づくべきと考えるがどうか</p> <p>② 公約の市政運営で、市長が先頭に立ってサービス向上に努めるとあるが、進捗状況と今後の展開は</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策・医療・介護・福祉・暮らしについて</p> <p>① 第6波が心配される中これまでの水際対策の継続、PCR検査の拡充など予防策の強化はどうか</p> <p>② 国保基金の活用で国保料を下げるとともに、コロナで減収となった方への国保税減免措置や介護事業所への助成継続の考えは</p> <p>③ 高齢者や障がい者・免許返納者等、交通弱者支援として乗り合いタクシーの増便や停車位置の増設、タクシー券配布対象者増等の考えは</p> <p>④ 高齢者や障がい者等、避難弱者の避難マニュアル作成や周知など行政が責任を持つべきと考えるがどうか</p> <p>⑤ あらゆる差別をなくすためにジェンダー平等推進と合わせ女性・若者の活躍の場を拡大してはどうか</p> <p>(3) 教育・子育てについて</p> <p>① 配布したタブレットによる「いじめ」など都市部では一部の児童・生徒の間で問題が生じているようだが、市の状況は。ICT教育の検証と今後の展開は</p> <p>② 子どもたちが伸び伸びと活動できるよう幼保・小・中学校のグラウンドの芝生化等あわせ、スポーツ施設の環境向上と文化芸術環境の向上のための予算措置をしてはどうか</p> <p>③ 全市型スポーツの検証と文科系部活への展開は</p> <p>④ 学校給食の地域農産物・有機野菜使用状況と今後の展開は</p> <p>⑤ 児童・生徒全ての「給食費」の無料化と自校方式の考えは</p> <p>(4) 経済・産業について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古 川 仁 (日本共産党)	<p>① 市民生活を守るためにも、国に対して消費税の5%への引き下げを求めている。また、インボイス登録開始による状況は</p> <p>② 農業経営が維持できるよう今後の見通しと、U・Iターン者への農業支援等、今後の農業振興策の展開は</p> <p>(5) 生活の向上・自然環境について</p> <p>① ごみ処理手数料の廃止を考えてはどうか。また、ごみを削減するため予算もつけ、古布を回収し介護時などで使用する清しき布の推奨に努めてはどうか</p> <p>② 自然豊かな景観や環境を守り、資源として活用するための「ゼロカーボンシティ」や「ジオパーク」の取り組み状況と今後の展開は</p> <p>(6) リニア中央新幹線について</p> <p>① 工事現場での事故原因の追究、不安解消に努め、問題が解消されるまで一旦、工事の中止・凍結をJR東海に求めているかどうか</p> <p>② コロナ後も乗降客の減少が予想される中、今一度駅の規模や構造など検討してはどうか</p>